

平成30年度補正 水産業競争力強化緊急施設整備事業 事後評価結果

		長崎県水産部水産経営課	
目的	・シャーベット製氷機を新たに導入し、高鮮度保持の取組を進め、ブランド力の強化により産地間競争力を強化することで漁業所得の増加を図る。		
目標	アマダイの水揚げ金額の増	2	
事業実施主体	上対馬町漁業協同組合		
実施地区	対馬市上対馬町西泊地区		
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度	
	平成31年度	令和4年度	
助成金額	157,455,000円		
事業計画の内容	鮮度保持施設（日産30トン、貯氷400トン） ・施設本体改修 ・製氷設備改修 ・貯氷室冷却設備改修 ・砕氷搬送設備改良 ・シャーベット製氷設備設置		
評価	取組の目標（KPI）	地区内における漁業所得の増	
	基準年（A）	平成30年度時点	●●●●●●●千円
	現状値（B）	令和4年度末時点	●●●●●●●千円 増加率【=(B-A)/A×100】 △29%
	目標値（C）	令和4年度末	●●●●●●●千円 増加率【=(B-A)/A×100】 11%
	成果目標	アマダイの水揚げ金額の増	
	現状値（D）	令和4年度末時点	●●●●●●●千円 対目標値【=D/E×100】 118%
	目標値（E）	令和4年度末	●●●●●●●千円
	（1）現状値の説明	KPI：漁協組合員の漁業所得の合計値（基準年181名、現状値142名） 成果目標：アマダイの水揚げ金額	
	（2）地域への経済効果	・氷の供給能力が向上し、地元漁業者の利便性が大きく向上した。 ・シャーベット製氷機を使って出荷したアマダイの単価が向上した。 （H25～29平均 2,414円/kg → R4 3,019/kg）	
	（3）所見	取組の目標（KPI）に関しては、目標値を下回る結果となっている。これについては、燃油代高騰の継続による出漁機会の減少や燃油価格高騰による経費の増加、高齢化や後継者不足による就業者数の減少、沿岸の藻場の減少に伴う水産資源量減少による影響を受け、漁業所得が減少したと考えられる。 （水揚量：H25～29平均 4,613t → R4 3,291t） 成果目標のアマダイ水揚げ額については、目標を上回る増加率を達成できた。要因としては、高鮮度出荷の取組が実を結び、市場単価の上昇で水揚げ金額の向上に繋がったと考えられる。	
（4）評価機関の意見等			
今後の改善方向等に関する分析			